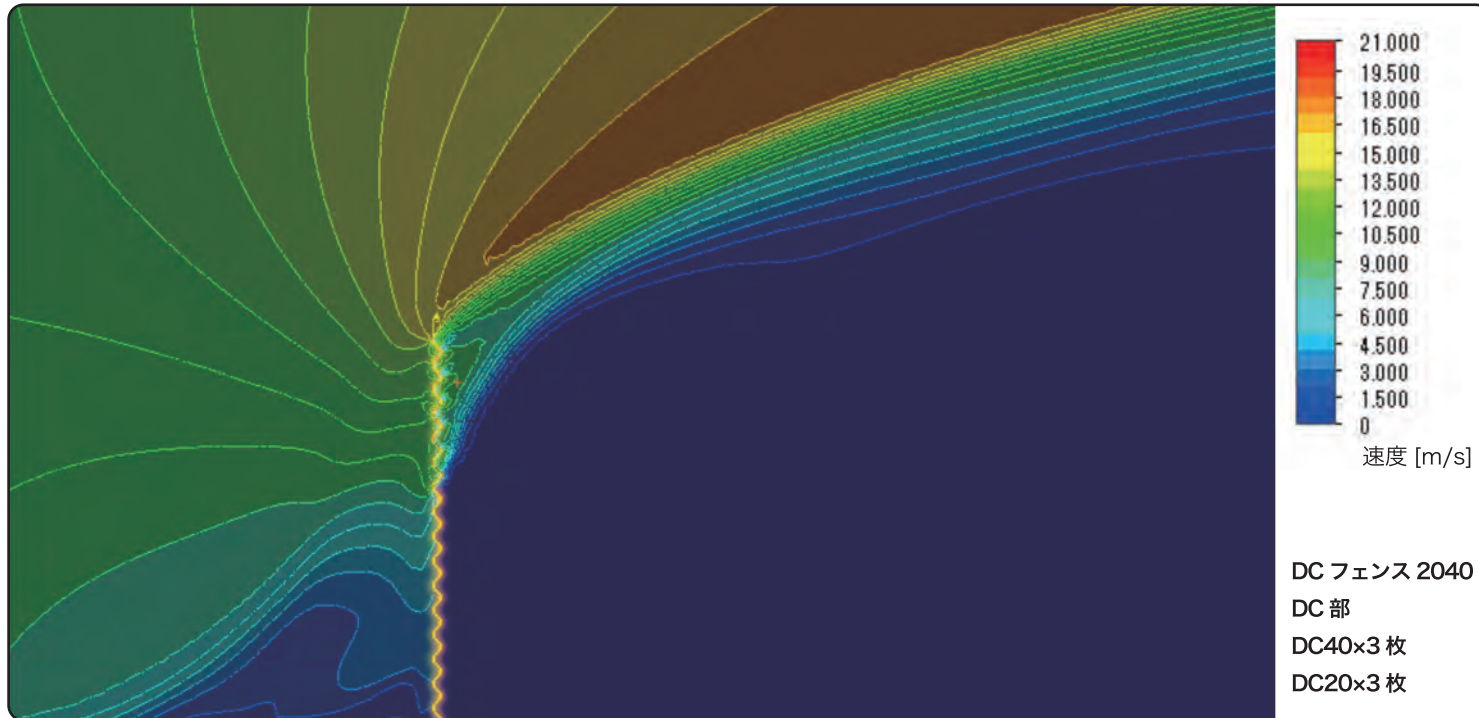


風向風速数値シミュレーション解析



- DC パネルにより、柵風上から流入する飛雪を風下上方へ合流させ吹き流す。
- 風下側の剥離渦を抑え減風効果も高い。

*風向風速数値シミュレーション

使用ソフト：SOLIDWORKS(R)professional 2015

流入風速：V=10m/sec

柵 高： $H=4.0\text{m}$

DCフェンス2040施工例



販売代理店

製造・発売元



本社・工場

エアウォーターグループ

株式会社 **ホクエイ**

〒007-0882 札幌市東区北丘珠2条3丁目 2-30
TEL 011-788-1855 FAX 011-788-1850

〒030-0945 青森市桜川 5丁目 6-1
TEL 017-744-5225 (FAX兼用)
携帯 090-5985-0465

東北営業所

TEL 017-744-5225 (FAX兼用)
携帯 090-5985-0465

20230329

高性能吹き止め柵



DCフェンス
2040
Direction Control Fence

DC フェンス 2040 の特徴

- 道路敷地内での設置が可能です
- 斜風対応に優れています
- 経済性に優れています
- NETIS登録番号170008-A

DCパネル

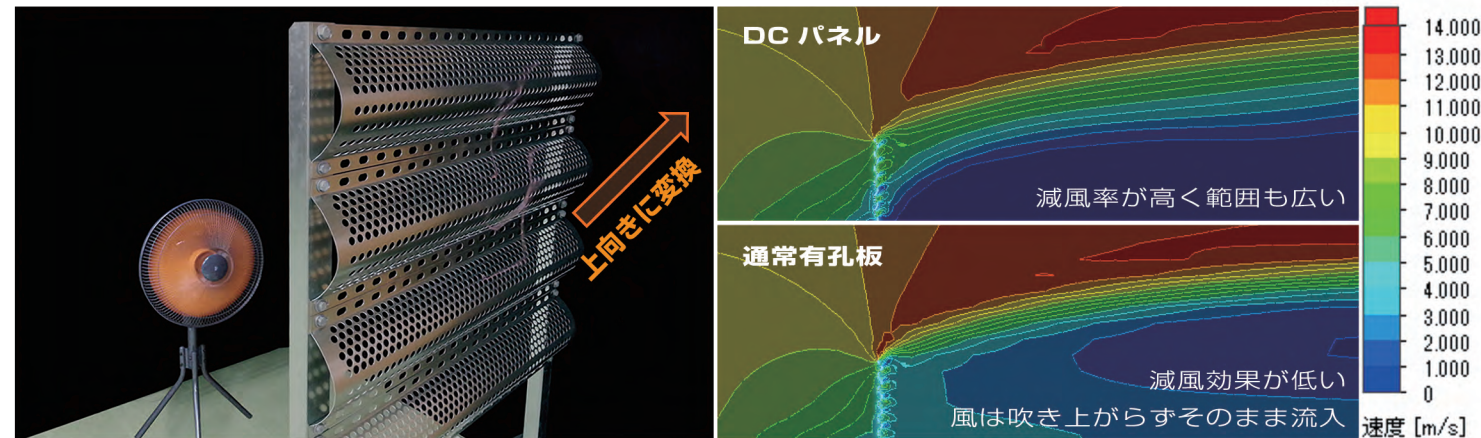
意匠登録 第 1397173
意匠登録 第 1397174



NORTH PLAN

DC パネルの特徴

■パネル自体が持つ風向変換機能により、風雪の流れを上下左右に変換することができます。

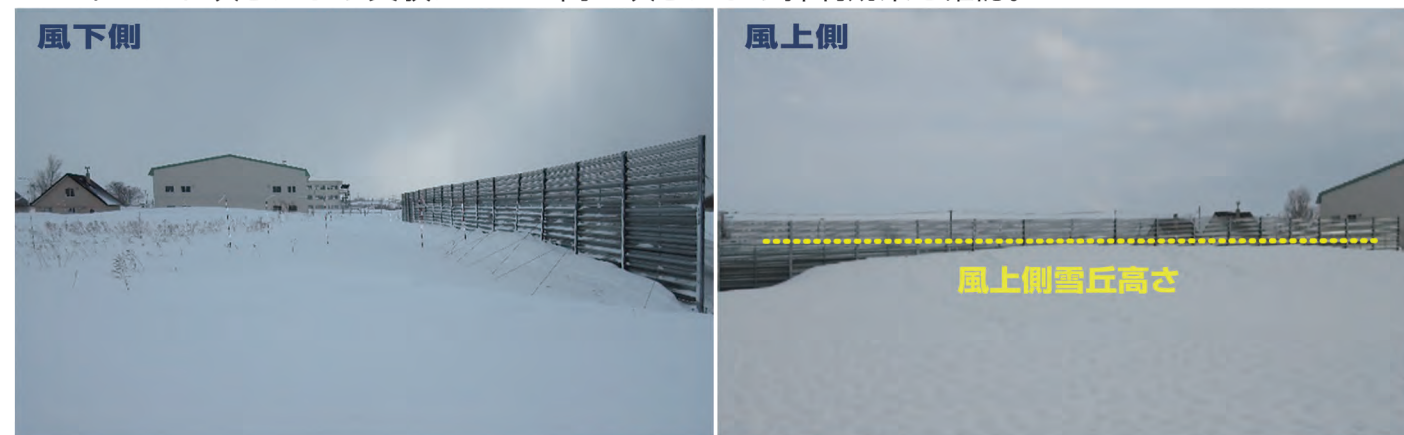


■DCパネルと無孔板を組み合わせることにより、流入する飛雪を効率よく上方向に変換し高い防風防雪効果を発揮します。

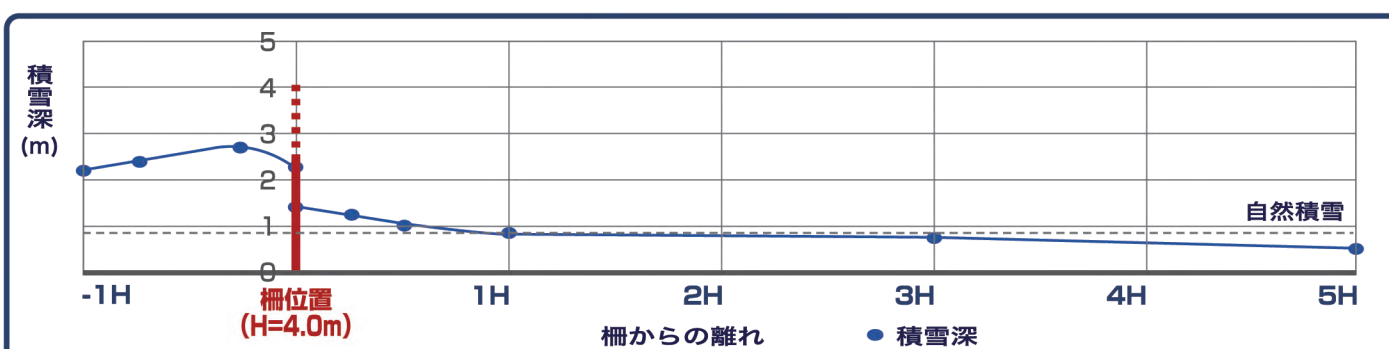


平成27年度冬期 吹きだまり実験

■フィールド吹きだまり実験において高い吹きだまり抑制効果を確認。



柵まわりの積雪深



平成27年度冬期 気流可視化実験

■風上側雪丘が高くてもDCパネルにより気流をスムーズに上方へ変換。

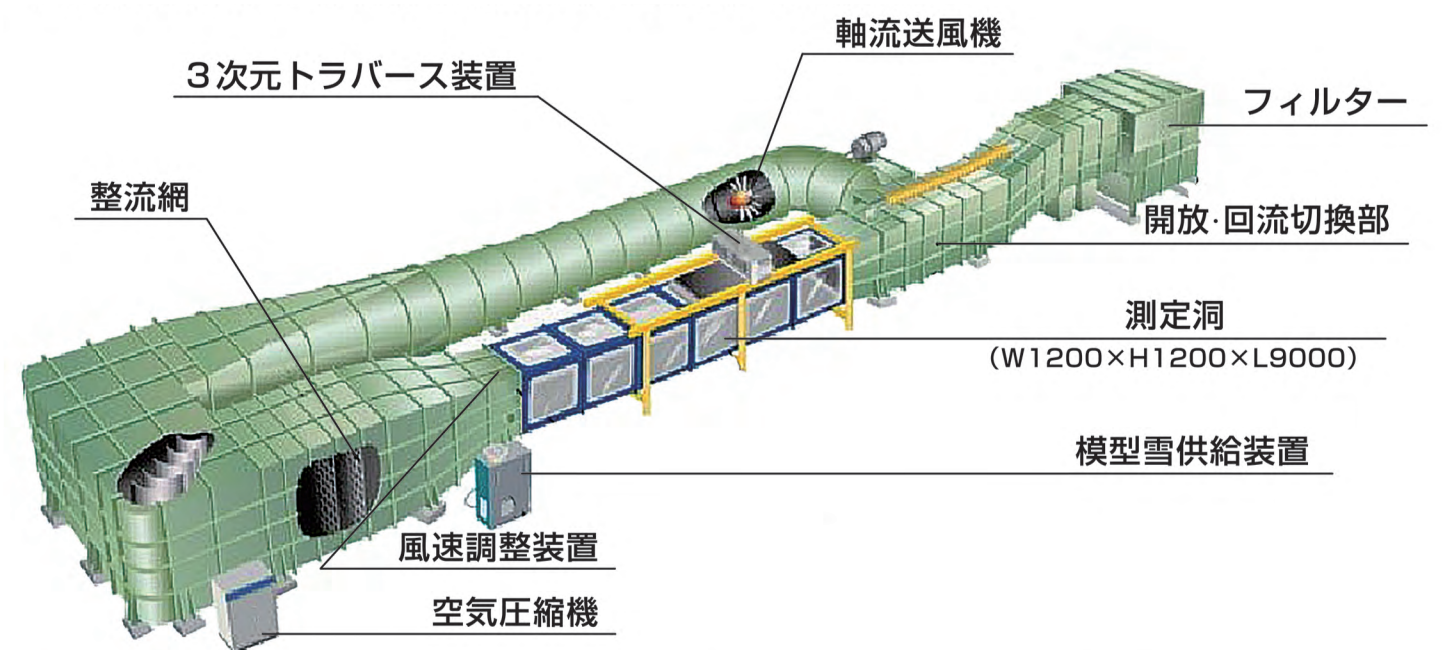


- 通常の有孔板を使用した場合、風上側雪丘が有孔部に達すると飛雪が上方へ上がらずそのまま流入し、吹きだまりが急激に成長する傾向にある。
- 一方DCパネルは、このような場合においても気流を上方向に変換し吹きだまり形成を抑える傾向にある。

風洞実験

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

■風洞施設による吹きだまり模型実験・煙可視化実験を実施。



吹きだまり模型実験

- 吹きだまりの形成を抑制する。

煙可視化実験

- 剥離渦を抑え効率よく吹き流す。
- 減風域が広く斜風にも効果が高い。

